



HP TechPulse

Device Management **ガイド**

目次

対象者.....	4
はじめに.....	4
役割.....	4
HP TechPulse でデバイスと詳細の表示.....	6
デバイスの状態の確認.....	7
デバイス詳細のエクスポート.....	7
HP TechPulse にデバイスを追加.....	8
デバイスを個別に追加.....	8
登録でコンピュータを追加.....	8
複数のデバイスを同時に追加.....	9
パート 1: .CSV ファイルの作成.....	9
パート 2: インポートの実行.....	10
パート 3: .CSV ファイル内のエラーの確認.....	10
デバイスの更新.....	11
個別のデバイスの更新.....	11
インポート機能を使用した複数のデバイスの更新.....	11
デバイスリストのエクスポート.....	12
デバイス登録のレポート.....	13
デバイスの登録解除.....	14
デバイスの削除.....	14
デバイスの再登録.....	15

デバイスのアーカイブ.....	16
デバイスの場所別グループ化 (会社の場所の履歴).....	17
グローバル場所フィルターの仕組み.....	18
場所の設定の有効化.....	19
デバイスへの場所の割り当て.....	19

対象者

このガイドの情報は、HP パートナーおよび HP TechPulse のお客様を対象としています。

はじめに

本ドキュメントは、HP TechPulse でデバイスを管理する手順を紹介します。「Devices (デバイス)」ページからデバイスを表示、追加、更新、エクスポートできます。また、デバイスの登録ステータスについてレポートを作成したり、ハードウェア、ソフトウェア、保証に関する情報を表示したりできます。

「Devices (デバイス)」機能は、会社において管理されているすべてのデバイスのリストを提供します。このリストは、HP TechPulse に登録されているデバイスおよび登録されていないデバイスの両方を表示します。リストに *[not enrolled (未登録)]* ステータスで表示されるデバイスは、手動で追加、または .CSV ファイルでインポートされています。デバイスがインポートされた後、「Devices (デバイス)」ページに表示されますが、管理者による登録が必要です。

役割

次の役割 (ロール) が HP TechPulse で「Device (デバイス)」機能にアクセスできます：

ロール	ロールの説明	タスク
IT Admin (IT 管理者)	これは、割り当てられた顧客データのみアクセスできる顧客ロールです。このロールは読み取り/書き込み権限があり、一般的に会社の IT 管理者に割り当てられています。	<ul style="list-style-type: none">「Devices (デバイス)」、「Device Details (デバイスの詳細)」ページに移動デバイスをインポート/エクスポート「Device Details (デバイスの詳細)」ページで編集可能なフィールドを更新デバイスの削除
Report Admin (レポート管理者)	これは、顧客自身のデータのみアクセスできる顧客ロールです。このロールは読み取り権限のみがあります。	<ul style="list-style-type: none">「Devices (デバイス)」、「Device Details (デバイスの詳細)」ページに移動デバイスのエクスポート

ロール	ロールの説明	タスク
Support Admin (サポート管理者)/Support Specialist (サポートスペシャリスト)	これは、複数のお客様にアクセスできる「Managed Service Provider (マネージドサービスプロバイダ)」(MSP) ロールです。このロールは、デバイスを管理する読み取り/書き込み権限があります。	<ul style="list-style-type: none"> 「Devices (デバイス)」、 「Device Details (デバイスの詳細)」 ページに移動 デバイスをインポート/エクスポート 「Device Details (デバイスの詳細)」 ページで特定のフィールドを更新 デバイスの削除
Partner Admin (パートナー管理者) - Onboard Authorized (オンボード承認済み)/Partner Service Specialist (パートナーサービススペシャリスト)	これは、パートナーアカウントに属するデバイスとデバイスの詳細にアクセスできるリセラーのロールです。このロールは、デバイスを管理する読み取り/書き込み権限があります。	<ul style="list-style-type: none"> 「Devices (デバイス)」、 「Device Details (デバイスの詳細)」 ページに移動 デバイスをインポート/エクスポート 「Device Details (デバイスの詳細)」 ページで特定のフィールドを更新 デバイスの削除
Partner Admin (パートナー管理者) - Not Onboard Authorized (オンボード非承認)/Partner Service Specialist (パートナーサービススペシャリスト)	これは、パートナーアカウントに属するデバイスとデバイスの詳細へのアクセス権のないリセラーのロールです。	該当なし

HP TechPulse でデバイスと詳細の表示

HP TechPulse でデバイスを表示するには以下の手順を実行します。

1. HP TechPulse にログインします。
2. 左列で「Devices (デバイス)」をクリックします。
3. デバイスのリストが表示され、デフォルトのビューでは次の情報が含まれます。
 - Serial Number (シリアル番号) (変更不可)
 - Device Name (デバイス名) (デバイスが登録されている場合)
 - Type (タイプ)
 - Location Description (場所の説明)
 - Enrolled (登録済み)
 - Status (ステータス)
 - Department (部門)
 - Non-HP Warranty (非 HP 保証)
 - Asset Tag (アセットタグ)
 - FECHA Renting上部で列見出しを使用して昇順または降順に列を並べ替えることができます。
4. デバイス名をクリックすると、デバイスの詳細を表示できます。



注: ページ右上で「Settings (設定)」アイコンを使用して、列の非表示、表示、並べ替えを行うことができます。今後のログインのためにカスタム ビューを保存するようにしてください。いつでも「Reset to default (デフォルトにリセット)」を選択してデフォルトビューに戻ることができます。

デバイスの状態の確認

デバイスの総合的な状態ステータス (health status)、その他の詳細を確認して必要な操作を行うことができます。

デバイスの総合的な状態の表示方法:

1. **「Devices (デバイス)」** ページからデバイス名をクリックします。
2. **「Device Details (デバイスの詳細)」** ページで、オレンジ色のデバイスアイコンのあるボックスで以下が確認できます。
 - デバイスの総合的な状態
 - デバイスの保証の有無
 - デバイスの確認が必要かどうか
 - 最終アクティブステータス

「Needs Review (確認が必要)」 が表示された場合、BIOS、ドライバ、状態保護ステータスを確認し、重大な要素、または障害が発生する兆候のある要素がないか確認します。
3. タブを移動してデバイスの詳細を表示できます。

デバイス詳細のエクスポート

「Device Details (デバイスの詳細)」 ページからデバイスのすべての詳細を .XLS ファイルとしてエクスポートできます。

デバイス詳細のエクスポート方法:

1. **「Devices (デバイス)」** ページからデバイス名をクリックします。
2. **「Device Details (デバイスの詳細)」** ページで、オレンジ色のデバイスアイコンのあるボックスでダウンロードアイコンをクリックします。
3. エクスポートプロセスが実行中であることを示す通知が表示されます。
4. エクスポート機能が完了したら、**「NOTIFICATIONS (通知)」** エリアで通知を確認できます。
5. **「Download File (ファイルのダウンロード)」** リンクをクリックしてファイルをローカルコンピュータにダウンロードします。

HP TechPulse にデバイスを追加

このセクションは、デバイスを1つずつ、または複数のデバイスを同時に追加する方法について説明します。

デバイスを個別に追加

このセクションは、個別のデバイスを HP TechPulse に追加する方法について説明します。

1. 「Devices (デバイス)」 ページから 「Add (追加)」 をクリックします。
2. 「Add Devices (デバイスの追加)」 ウィンドウで 「Manually (手動)」 を選択してデバイスを追加し、「Next (次へ)」 をクリックします。
3. 「Add Devices (デバイスの追加)」 ウィンドウでシリアル番号とエイリアス(わかりやすい名前)を入力し、デバイスを追加します。
さらにデバイスを追加するには、「Add another device (他のデバイスを追加)」 をクリックします。最大5デバイスまで追加できます。
5. デバイス情報を入力したら、「Add (追加)」 をクリックします。デバイスが追加され、「Devices (デバイス)」 ページで確認できます。

登録でコンピュータを追加

この方法はデスクトップ、ノート PC、タブレットコンピュータで実行できます。

1. 「Devices (デバイス)」 ページで 「Add (追加)」 をクリックします。
2. 「Add Devices (デバイスの追加)」 ウィンドウで 「Enrollment (登録)」 を選択し、HP TechPulse にコンピュータを登録します。
3. 手順を実行してコンピュータを登録します。
4. 登録が完了したら、コンピュータは会社のデバイスリストに追加され、「Devices (デバイス)」 ページで表示できます。

複数のデバイスを同時に追加

このセクションは、デバイスをインポートするために .CSV ファイルを使用して複数のデバイスを同時に追加する方法を説明します。

パート 1: .CSV ファイルの作成

インポートするデバイスリストを含む .CSV ファイルを作成します。 .CSV ファイルには、少なくとも「Serial Number (シリアル番号)」フィールドを含めた列見出しが必要です。 .CSV ファイルは、以下で示す通り、見出し列に追加フィールドを含めることもできます。

Serial Number (シリアル番号)	Alias (エイリアス)	Asset Tag (アセットタグ)	Location (場所)	Department (部門)	Cost Center (コストセンター)	Store Number (店番号)	Manufacture Date (製造日)	Lifecycle Status (ライフサイクルステータス)	Device Role (デバイスロール)
テキスト	テキスト	テキスト	テキスト	テキスト	テキスト	テキスト	月月/日日/年 年年年	テキスト	

HP 以外のデバイスについては、「Warranty Name (保証名)」（テキスト）、「Warranty Start Date (保証開始日)」（月月/日日/年年年年）、「Warranty End Date (保証終了日)」（月月/日日/年年年年）、「Warranty Description (保証の説明)」（テキスト）をインポートすることもできます。

注:



- 「Serial Number (シリアル番号)」のみが必須フィールドです。その他のフィールドは任意です。
- 「Manufacture Date (製造日)」フィールドは次の日付形式を使用します: 月月/日日/年年年年 (例: 08/27/2020)。
- コンテンツには次の特殊文字を含めることができます。
!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{|}~
- 1つのファイルでインポートできるデバイスの最大数は 100,000 デバイスです。 .CSV ファイルは 100,000 以上のレコードを含めることはできません。
- サンプル .CSV はこちらでダウンロードできます: [パート 2: インポートの実行、手順 4](#)

パート 2: インポートの実行

.CSV ファイルの作成後、以下の手順を実行します。

1. 「Devices (デバイス)」 ページから 「Add (追加)」 をクリックします。
2. 「Add Devices (デバイスの追加)」 ウィンドウで、デバイスを追加する方法として 「Multiple Devices (複数のデバイス)」 を選択し、 「Next (次へ)」 をクリックします。
3. 「Browse (参照)」 をクリックしてインポートする .CSV ファイルを選択します。
サンプル .CSV ファイルがダウンロードできます。リンクをクリックしてサンプル .CSV ファイルを確認します。
4. 「Import (インポート)」 をクリックします。
5. 「Import (インポート)」 を選択します。通知エリアにインポートプロセスが実行中であることを示すバッジが表示されます。
6. 「Close (閉じる)」 を選択してメッセージを閉じます。デバイスリストが更新され、新しくインポートされたデバイスが表示されます。

パート 3: .CSV ファイル内のエラーの確認

.CSV インポート機能の使用時、エラーが表示される場合があります。「Notification (通知ウィンドウ)」 が開き、ログの場所を表示して詳細を提供します。

インポート中に以下のような理由によりエラーが発生します。

- 「Serial Number (シリアル番号)」 (必須) がない
- .CSV ファイルが空白
- 日付形式が間違っている
- ファイル拡張子が間違っている
- csv ファイルにおいて次を含む特定の文字: (=,+,-,@)
- ファイル内の複数行エラー

「Notification (通知)」 ウィンドウでログファイルへのリンクをクリックします。ログファイルは、.CSV ファイル内でエラーを含む行を表示します。問題を解決し、再度 .CSV ファイルのインポートを試みます。

デバイスの更新

このセクションは、デバイスを HP TechPulse に追加した後、情報を更新する 2 つの方法について説明します。

個別のデバイスの更新

この方法を使用して 1 つずつのデバイスで情報を更新します。

1. 「Devices (デバイス)」 ページでデバイスを選択して詳細を表示します。
2. 「Device Details (デバイスの詳細)」 ページで編集可能なフィールドの隣にある「Edit (編集)」 アイコンをクリックします。
3. 必要な変更を行ったら、「Save (保存)」 をクリックします。

インポート機能を使用した複数のデバイスの更新

この方法を使用して、インポート機能により複数のデバイスで情報を更新します。

複数のデバイスを更新するには、最初にデバイスのリストを .CSV ファイルにエクスポートし、そのファイルに必要な変更を加えた後に、そのファイルをインポートします。

デバイスリストのエクスポート方法については、こちらを参照してください: [デバイスリストのエクスポート](#)

デバイスの詳細を更新してインポートする方法:

1. エクスポート機能を使用してダウンロードした .CSV ファイルを開き、デバイスに必要な変更を行ったら、ファイルを保存します。
2. 次に、「Devices (デバイス)」 ページで「Add (追加)」 をクリックします。
3. 「Add Devices (デバイスの追加)」 ウィンドウで、デバイスの詳細をインポートする方法として「Multiple Devices (複数のデバイス)」 を選択し、「Next (次へ)」 をクリックします。
4. 「Browse (参照)」 をクリックしてインポートする .CSV ファイルを選択します。
5. 「Import (インポート)」 をクリックします。
6. 通知アイコンにインポートプロセスが実行中であることを示すバッジが表示されます。
7. インポートが完了したら、デバイスリストは新しい値で更新されます。

デバイスリストのエクスポート

デバイスを選択してリストをエクスポートし、以下を実行できます。

- デバイスの詳細の確認と使用 (レポーティングに活用) (Current columns in table (表内の現在の列))

現在の「Devices (デバイス)」ページビューに表示されているデバイスの列のみがエクスポートされます。「Table Configuration (表の構成)」設定 (歯車アイコン) から列を構成できます。編集可能なフィールドは、エクスポートした .CSV ファイルにラベルが適用されます。

- デバイスの詳細を変更し、更新したデバイスの詳細をインポート (All editable device details (すべての編集可能なデバイスの詳細))

編集可能なデバイスの詳細のみがエクスポートされます。必要な変更を行い、インポート機能を使用して詳細を更新します。

現在のページビューでデバイスを個別に選択、またはすべてのデバイスを選択できます。現在のページから移動すると、デバイスの選択が解除されます。

デバイスリストのエクスポート方法:

1. 「Devices (デバイス)」ページからデバイスを選択し、「Export (エクスポート)」をクリックします。
2. 「Export Devices (デバイスのエクスポート)」ウィンドウで、「Current columns in table (表内の現在の列)」または「All editable device details (すべての編集可能なデバイスの詳細)」を選択し、「Export (エクスポート)」を選択します。
3. エクスポートプロセスが実行中であることを示す通知が表示されます。
4. エクスポートプロセスが完了したら、「NOTIFICATIONS (通知)」エリアで通知を確認できます。
5. 「Download File (ファイルのダウンロード)」リンクをクリックしてファイルをローカルコンピュータにダウンロードします。

ダウンロードリンクは 60 分間有効です。60 分を経過するとリンクは期限切れとなります。

デバイス登録のレポートニング

「Device Enrollment Status Report (デバイス登録ステータスレポート)」は、デバイスの登録ステータスを表示します。このレポートはいつでもダウンロードできます。デバイスには以下のステータスのいずれかが適用されます。

- 「Pending (保留)」 – インポートされていますが登録されていません
- 「Enrolled (登録済み)」 – インポートされ、登録されています
- 「Unenrolled (登録解除済み)」 – 以前登録されていましたが、現在は登録されていません
- 「Removed (削除済み)」 – インポートも登録もされていません
- 「Archived (アーカイブ済み)」 – 選択した日付範囲でオンラインになっていません (デフォルトでは 90 日間)

「Device Enrollment Status Report (デバイス登録ステータスレポート)」の作成方法:

1. 左列で「Reports (レポート)」をクリックします。
2. 「Reports (レポート)」ページで「Create (作成)」をクリックします。
3. レポートの名前を入力し、「Hardware (ハードウェア)」 > 「Hardware Inventory (ハードウェアインベントリ)」を選択します。「Option (オプション)」リストで「Device Enrollment Status (デバイス登録ステータス)」を選択します。
4. 必要に応じてフィルター条件として「Location/Status (場所/ステータス)」を選択します。
5. HTML、PDF、XLS といったレポートのファイルの種類を選択します。
6. 「Save (保存)」を選択し、レポートを保存します。
7. 保存されたら、レポートは「Custom (カスタム)」タブの「Reports (レポート)」ページに表示されます。
8. 「Run Report (レポートの実行)」を選択し、「Device Enrollment Status Report (デバイス登録ステータスレポート)」を入力します。

デバイスの登録解除



注: IT 管理者のみがデバイスを登録解除できます。

デバイスを登録解除した場合:

- デバイスは HP TechPulse に接続されなくなりますが、非アクティブ状態でポータルに残り、後日アーカイブ設定に基づいてアーカイブされます。
- デバイスが HP TechPulse に接続されなくなっても HP TechPulse Windows Application はアンインストールされません。
- HP TechPulse システムトレイでは登録解除を反映するためにいくらか時間がかかります。そのため、エンドユーザーの環境では、バックエンドでの同期が完了するまでデバイスが登録済みとして表示される場合があります。正確なステータスを反映するには再起動が必要な場合があります。
- ライセンスシートが更新され、シート数が追加されます。

デバイスの登録解除方法:

1. 「Devices (デバイス)」ページからデバイスを選択し、「UNENROLL (登録解除)」をクリックします。
2. 「Unenroll Devices (デバイスの登録解除)」ウィンドウで、「Current selection of devices (現在のデバイスの選択)」または「List of devices (デバイスリスト)」を選択し、「Continue (続行)」を選択します。
3. セキュリティコード (セキュリティのために生成されるランダムコード) を入力し、captcha 要求に従います。
4. 登録解除のステータスを示す通知が表示されます。

デバイスの削除

デバイスを削除した場合:

- デバイスは登録解除され、ポータルから削除され、HP TechPulse に接続されなくなりますが、
- デバイスが HP TechPulse に接続されなくなっても HP TechPulse Windows Application はアンインストールされません。
- ログを除いてデバイスデータはポータルで利用できなくなります。

- HP TechPulse システムトレイでは、削除を反映するのに時間がかかり、再起動が必要な場合もあります。
- ライセンスシートが更新され、シート数が追加されます。

デバイスの削除方法:

1. 「Devices (デバイス)」 ページからデバイスを選択し、「Delete (削除)」 をクリックします。
2. 「Delete Devices (デバイスの削除)」 ウィンドウで、「Current selection of devices (現在のデバイスの選択)」 または 「List of devices (デバイスリスト)」 を選択し、「Continue (続行)」 を選択します。
3. セキュリティコード (セキュリティのために生成されるランダムコード) を入力し、captcha 要求に従います。
4. 削除のステータスを示す通知が表示されます。

デバイスの再登録

次の方法のいずれかを使用してデバイスを再登録します。

- 社用 PIN を使用して登録
 - HP TechPulse Windows Application をアンインストールし、社用 PIN を使用して再インストールします。
 - または
 - HP TechPulse アイコンを右クリックし、社用 PIN を使用して手動で登録します。
- シリアル番号を使用して登録
 - デバイスを登録解除した場合、デバイスの再起動後、HP TechPulse Windows Application は、デバイスを HP TechPulse に自動的に再登録します。
 - デバイスを削除した場合、シリアル番号を使用してデバイスを HP TechPulse に再登録する必要があります。

HP TechPulse Windows Application を削除せずにデバイスのイメージを再作成するとします。新しくイメージ作成されたデバイスを再インストール・再登録した後:

- 元のデバイスのレコードは自動的にこのデバイスに関連付けられます。重複のデバイスレコードがポータルで作成されることはありません。
- デバイスが新規ユーザーに割り当てられた場合、登録ユーザーは新規ユーザーに切り替えられます。

デバイスのアーカイブ

デバイスのアーカイブ機能により、HP TechPulse で一定の期間オンラインでないデバイスをアーカイブしておくことができます。デフォルトでは、自動アーカイブ設定が有効になっており、90 日間に設定されています。いつでもこの設定を無効にしたり、期間を変更したりできます。デバイスがアーカイブ設定で設定した期間 HP TechPulse に接続されていない場合、デバイスはアーカイブされます。

アーカイブされたデバイスについては以下の通りです。

- デバイスは有効なサブスクリプションに対しカウントされません。
- デバイスはレコードおよびインシデントには含まれません。
- デバイスが HP TechPulse から登録解除または削除されるわけではありません。

自動アーカイブ設定を無効にする、または期間を変更する方法:

1. 「Settings (設定)」 ページから 「Preferences (設定)」 タブを選択します。
2. 「Archived Devices (アーカイブ済みデバイス)」 で編集アイコンをクリックします。
3. デバイスのアーカイブを無効にするには、「Not Enabled (無効)」 を選択します。
4. 期間を選択するには、オプションリストから日数を選択します。
5. 「Save (保存)」 をクリックします。

アーカイブしたデバイスのリストを表示するには、「Devices (デバイス)」 ページで 「Status (ステータス)」 のフィルターを 「Archived (アーカイブ済み)」 として選択します。

デバイスの場所別グループ化 (会社の場所の履歴)

マルチレベルの「Location (場所)」機能は、グローバルに展開するオフィスのある会社に便利です。登録したデバイスを地域別にグループ化して効果的に管理できます。レポートを作成し、場所とビジネス上の優先度に基づいて必要なアクションを実行することができます。

デフォルトでは、マルチレベルの場所機能は無効になっています。管理者はこの機能を有効にして、場所の階層モデルを定義し、レジストリキーパスからデバイスと関連付けることができます。



警告: この機能を有効にし、レベルを設定すると、変更することはできません。

以前に場所が既存の CSV インポート方法を使用してデバイスに割り当てられた場合、場所のデータは適用されません。HP TechPulse は、レジストリキーパスから場所の値を読み取ります。

この機能を有効にする前に会社のニーズに応じて場所の階層レベルを設計・構築してください。

階層レベルとデバイス割り当ての例:

場所 1 – アジア、太平洋および日本 (APJ)

場所 2 – シンガポール

場所 3 – シンガポールオフィス 拠点 1

場所 4 – 建物 1、1 階

デバイス 1... 10

場所 4 – 建物 1、2 階

デバイス 2... 20

場所 2 – 日本

場所 3 – 日本オフィス 拠点 1

場所 4 – 建物 1、1 階

デバイス 1... 10

場所 1 – 北アメリカ

場所 2 – カリフォルニア

場所 3 – マウンテンビュー オフィス 拠点 1

場所 4 – 建物 1、1 階

デバイス 1... 10

グローバル場所フィルターの仕組み

TechPulse ポータルにサインインすると、ダッシュボード、レポート、インシデント、デバイスのページのデータは、グローバル場所フィルターで選択した場所に基づいてフィルタリングされます。グローバル場所フィルターは、HP TechPulse ポータル全体に適用されます。

- 場所が選択されていない場合、デフォルトでは、HP TechPulse ポータルのすべてのページは、すべての場所の情報を表示します。
- 例えば、「Location 1 (場所 1)」のノードのいずれかを選択した場合、その子の場所もデフォルトで自動的に考慮され、HP TechPulse ポータルのすべてのページにおいて、すべての子の場所の情報が表示されます。場所レベルでノードを選択していない場合、すべてが表示されます。

例えば、場所 2 レベルですべて表示する場合、レベル 2 でどのノードも選択しません。

- 次のレベルで場所を表示/選択するには、レベルで選択する必要があります (1つの項目のみ選択する必要があります)。
- 各レベルで選択/選択解除できます。

Location Filter
US > Houston > Spring > HP

Location 1 Clear

Location 2 Clear

Location 3 Clear

Location 4

Location 1 options: Default, Japan, US

Location 2 options: Houston, San Diego

Location 3 options: 249, Katy, Spring

Location 4 options: HP

APPLY CANCEL

場所の設定の有効化

デフォルトでは、**マルチレベルの場所**の設定は無効になっています。「Settings (設定)」ページからこの設定を有効にできます。



警告:

- 「Allow multi-level locations (**マルチレベルの場所を許可**)」設定を有効にすると、無効にはできません。
- 場所レベルを設定すると、変更することはできません。

場所の設定を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. 「Settings (設定)」ページに移動します。
2. 「Preferences (設定)」タブで、「Company Location Hierarchy (**会社の場所階層**)」セクションに下方へスクロールします。
3. 「Multi-level locations (**マルチレベルの場所**)」の編集アイコンをクリックします。
4. 「Multi-level locations (**マルチレベルの場所**)」ウィンドウで、「Allow multi-level locations (**マルチレベルの場所を許可**)」設定を有効にします。
5. 許可するレベルの最大数を選択します。4レベルまで設定可能です。
保存すると、この設定を無効にする、または許可するレベルの数を変更することはできません。
6. 「Save (**保存**)」をクリックします。

デバイスへの場所の割り当て

デバイスへの場所の割り当ては、レジストリキーパスを使用して実行できます。HP TechPulseポータルを使用して場所を割り当てることはできません。

Windows デバイスの場合、以下のレジストリキーパスを使用して場所をデバイスに割り当てます。

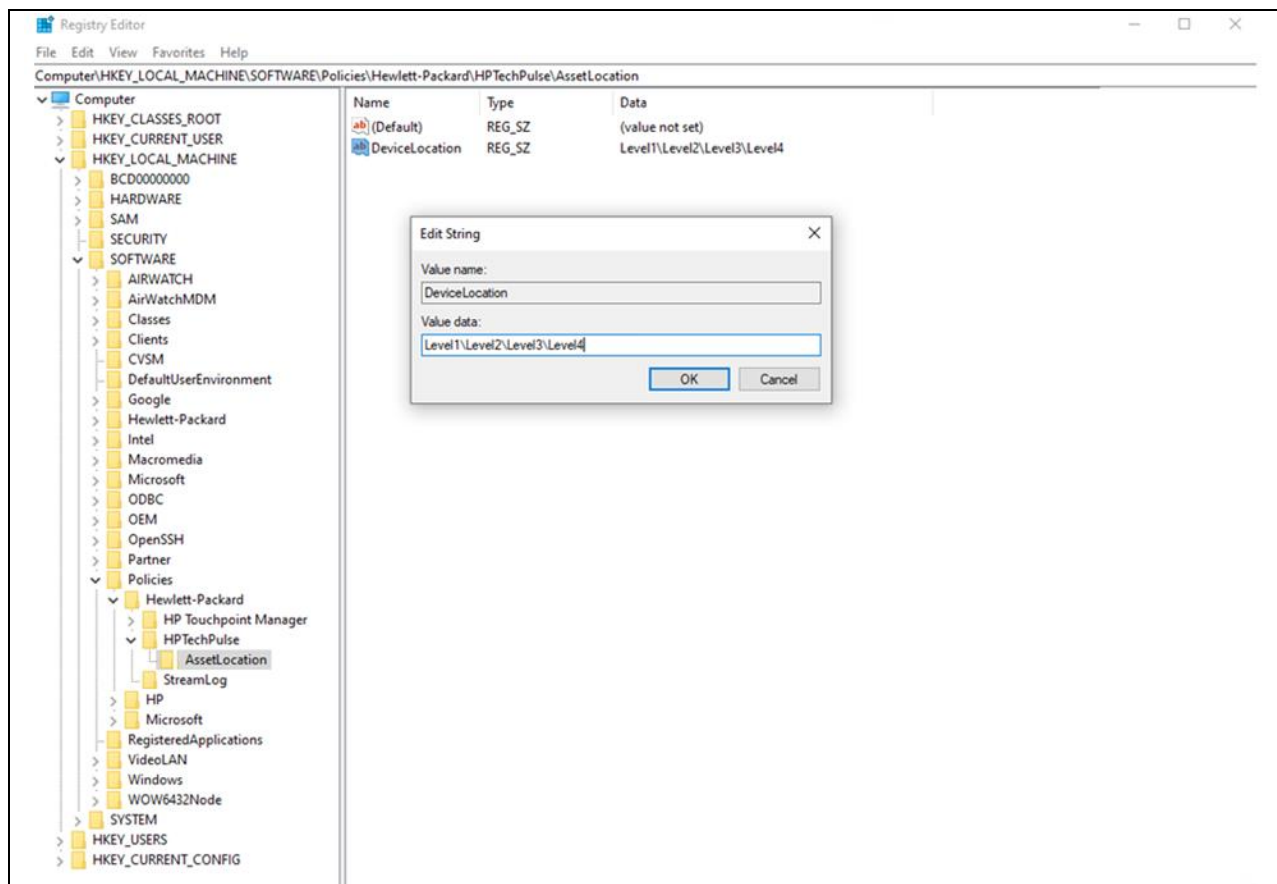
- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Hewlett-Packard\HPTechPulse\AssetLocation

System Center Configuration Manager (SCCM) または同様のデプロイメントツールを使用してキーを入力できます。

以下は、必要なレジストリキーと値を追加する Powershell コマンドの例です。

```
New-Item "HKEY_LOCAL_MACHINE:\SOFTWARE\Policies\Hewlett-Packard\HPTechPulse\AssetLocation" -Force |
```

```
New-ItemProperty -Name "DeviceLocation" -Value  
"Level1\Level2\Level3\Level4" -PropertyType "String" | Out-Null
```



デバイスへの場所の割り当て時:

- 4つのレベルが指定されている場合、すべてのデバイスは、キーで4つの場所の階層レベルの値が必要です。

例:

レジストリキーパス: HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Hewlett-Packard\HPTechPulse\AssetLocation

DeviceLocation 文字列のレジストリ値データ: US\California\Oakland\Bldg1

- デバイスが、指定された場所レベルよりも多いまたは少ない場合、デバイスはグローバルデフォルトカテゴリに割り当てられます。つまり、割り当てられる場所はありません。
- デバイスの場所が指定されていない、レジストリキーパスに場所レベルの値の正確な数字が含まれていない、またはデバイスがオフラインの場合、「Device Details (デバイスの詳細)」ページの「Asset Location (アセットの場所)」列は、「N/A (該当なし)」と表示されます。

© Copyright 2021 HP Development Company, L.P.こちらに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。HP の製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。HP は、本書の技術的または編集上の誤りや欠落に関して責任を負いません。

Microsoft および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

2021 年 2 月 4 日